

「葉書」2011年

特別展

あなたへの葉書

2025.12.11**杰~** 2026.3.8日

※3月9日(月)は展示替え

サ北町立 ・**全まる30美術館**

特別展

あなたへの葉書

詩画作家、星野富弘は、草花や風景などを題材に詩画を描いていますが、日々 移り変わる季節の変化も詩画の題材にしていました。草花や果実、風景などから語 りかける季節の移ろいと日常の出来事を組み合わせて描く星野の作品は、私たちの 心に温かな感情を抱かせてくれます。

本展では、「ルリヤナギ」や「春になったら」など、季節の移ろいを誰かに話し たくなるような作品を特集展示します。



「ルリヤナギ」1998年



「春になったら」2000年



「寒椿」2009年

季節の常設展『冬』

秋に別れを告げると、色づいた木々は葉を 落とし、多くの草花は冬の眠りに備え、種子 を残して地中に姿を隠します。そのような厳し い寒さの中でも、「寒椿」は静かに花を咲かせ、 私たちの心を温めてくれます。

寒さに負けない、温かな富弘作品をどうぞ ご鑑賞ください。



【お知らせ】

●次回展覧会

季節の常設展「春・初夏」/

企画展「第19回星野富弘美術館詩画公募展入賞作品展」

2026年3月10日(火)~6月21日(日) ※入賞作品展は4月26日(日)まで 季節の常設展では、星野富弘の春・初夏をテーマとした詩画作品を展示します。 入賞作品展では、第19回詩画公募展の優秀作品を展示します。

●詩画作品募集!

「第19回星野富弘美術館詩画公募展」 応募期間:~2026年1月31日(土)

一人ひとりの体験や感性から生まれるオリジナルな詩画作品を募集しています。日常に ある身近なものを題材に、気軽に詩画づくりに挑戦してみませんか。出品をお待ちして います。開催要項については、当館ホームページをご確認ください。

どうして熊本県芦北町に星野富弘美術館?

休止されていた「星野富弘花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催 を境に再開されます。それが契機となり、1 年後に「星野富弘詩画がある芦北ふる さとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館(群馬県み どり市)の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生。 当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描く「い のちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。



星野富弘(ほしのとみひろ) (1946年4月24日-2024年4月28日)

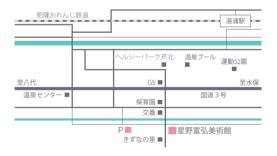
1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町) に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師にな るが、クラブ活動(器械体操)の指導中、模範演技 で空中回転したときに誤って頭部から転落。頸髄を 損傷し、首から下の自由を失う。入院中、口に筆を くわえて文や絵をかきはじめる。前橋で最初の作品 展を開く。退院後、新聞等に詩画作品やエッセイの 連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画 展」を開催。以降、全国各地また海外でも開催され 現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村 (現みどり市東町) に富弘美術館開館。2006年、 芦北町立星野富弘美術館開館。著書多数。

ミュージアムショップ -

星野富弘『花の詩画集』をはじめ、その他書籍、 絵はがき、詩画集カレンダー等さまざまな商品を 取り揃えています。観覧料なしでご利用できます ので、お気軽にお立ち寄りください。

美術館までのアクセス -

○JR九州新幹線「新水俣駅」から肥薩おれんじ鉄 道線で「湯浦駅」まで13分/湯浦駅から歩いて1 5分○JR九州新幹線「新八代駅」から肥薩おれん じ鉄道線で「佐敷駅」まで55分/佐敷駅からタク シーで10分○九州自動車道「八代 I C」から南九 州西回り自動車道「芦北 | C」まで30分/芦北 | Cから15分○南九州西回り自動車道「水俣ⅠC」 から「津奈木 | C」まで5分/津奈木 | Cから15分



※美術館玄関前に、障がい者用駐車スペースがあります。 ※バス等の駐車については、美術館までお問い合わせください。



芦北町立

〒869-5563 能本県葦北郡苫北町湯浦 1439-2 TFL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600 http://www.hoshino-museum.com